

知っていますか？ インスリンの保管法

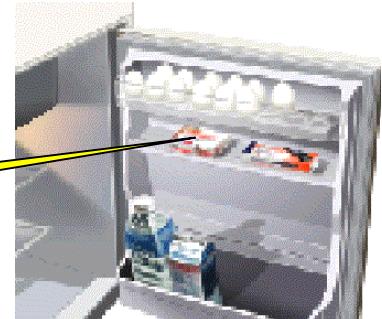
今回は、下記のインスリン保管に関する事をまとめてみました。ぜひ参考にして下さい。

- ◆インスリンの保管法を間違っている方が時々おられます。
- ◆インスリンを保管する時に、針をつけたままにしている方も時々おられます。
- ◆インスリンを正しく打っていても保管法を間違っていると、インスリンの効果が出ない事も考えられます。

正しいインスリンの保管法

未使用(新品)のインスリンは冷蔵庫で保存し、凍らせないでください。

☆凍結を避け2°C~8°Cで保存



インスリンは立_てち_すに寝かせて保存して
ください。

使い始めたインスリンは室温で保存し、高温に
注意してください。

直射日光に当たたり、熱くならないように
してください。

日中の車の中は50°C以上になることが
あるので、放置しないでください。

☆室温; 1°C~30°C
で保存



インスリンはもともと人が身体の中で作っているホルモンです。
人が耐えられない環境ではインスリンもまた耐えられません。
暑さにも凍結にも弱いのです。
また、インスリンは強い光で分解してしまいますので直射日光は
必ず避けて保管してください。

インスリンの針は毎回交換していますか？

◎針をつけたままにすると、液漏れをおこすことがあります。



インスリンが漏れて
インスリンの効果が変わることがあります。

◎針をつけたままにすると、針詰まりがおきることがあります。

針の中で薬液の水分が蒸発し、固まってしまうことがあります。

◎針をつけたままにしたり、同じ針を何度も使用したりすると
感染の原因となることがあります。

針をつけたままにすることで、雑菌が薬液の中に入ってしまう
おそれがあります。

◎新しい針ではなく、同じ針を何回も使用すると、痛みが強
くなったり、針が折れやすくなったりすることがあります。

同じ針を何回も使用すると、針先が痛んで変形して、注射時の
痛みが強くなる可能性があります。また、針は何度も使用する
ことで、針の強度が落ちて、曲がりやすくなったり、折れやす
くなったりします。

